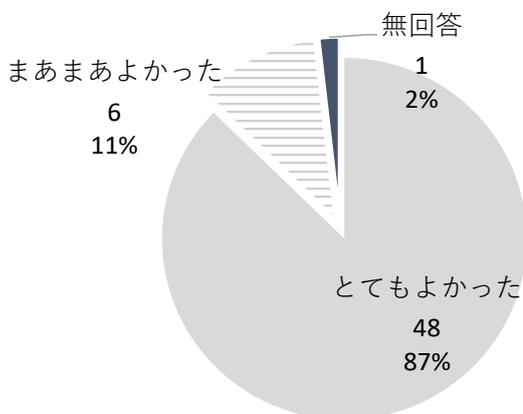


## 参加者アンケートまとめ

参加者70名

単位：人

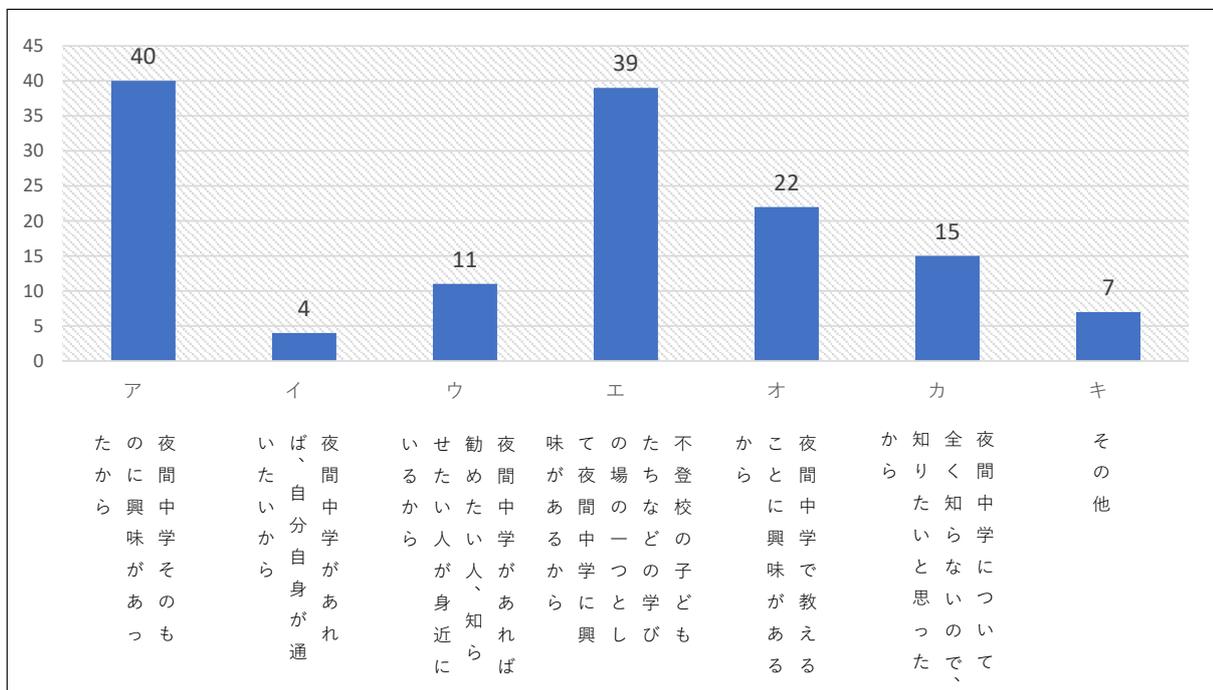
### #01 上映会&パネルトークは全体としていかがでしたか。



回答数:55

とてもよかった	48
まあまあよかった	6
あまりよくなかった	0
全くよくなかった	0
無回答	1
計	55

### #02 今回の「つどい」に参加したきっかけ、理由について、あてはまるものすべてに○を付けてください。



#### キ その他

- ・青森でも夜間中学をつくりたいから
- ・以前の講座に出席していたので、興味がある
- ・紹介されたので（知り合いから）
- ・夜中で働きたいから
- ・私は夜間中学をとり上げた劇「夜に陽が昇るとき」を岡山県で上演した脚本家です。全国各地の情報を本県におとしこんで活かしたいと思っています
- ・普段接点のない分野についても見聞を広めたいと思っていたところだったので。
- ・参加し、周りの方々に夜間中学のことを広めることで、後押ししたいと思ったから

## #01の理由

・映画良かったです。「学びから遠ざけてはいけない」という言葉に感謝。夜間中学は勉強だけでなく、心が通いあう場だと思いました。

・パネリストの方々の話がはっきりしてとても勉強になった

・夜間中学について、今まで何も知りませんでした。どういう場所なのか知ることができよかったと思ってます。

・青森県の夜間中学設立に向けて、少し見通しが出てきたように思います。

・「こんばんはII」を初めて見て、知らない事実を沢山知ることができました。青森に夜間中学を作るためにどうしていけばいいのか、もっともっと知識を得て行動できればいいなと思いました。「形式卒業」ということばを初めて知って衝撃を受けました。

・夜間中学をつくる必要性を知ることができました。

・こんなにも多様な人が学び、学び直しを求めているんだと初めて知った。

・貴重なお話を聞きました。

・後半からの参加でしたが、色々な人の話をきけて良かったです。

・以前よんだ本がかなり古いもので、2016年～の夜間中学校の現状を知ることができ、よかった。以前（2015年まで）千葉に住んでいたの、ぜひ参加してみたかった。

・知らない情報を得ることができたから。

・"学ぶことって何だろう"原点にかえて考えることができました。私は学校という現場をわくわく学べる場所、温かくて居心地のいい場所にしたいと心を強くさせてもらいました。人はいつからでも変わる。力がありますものね！！

・夜間中学がどういうものか、どうして必要なか知れた。

・「学校に行けない」という苦しさの中での一つの選択肢として考えることが大事と学べた。やり方がたくさんあってよかった。

・教員をしているので、様々なことを考えさせられたから、「学ぶことは生きのびること」「学校は人生」「形式卒業は悔しい」という言葉にどきとしたから。ふだん学校に来ていなかった子も本当はそう思っていたのかなあ、今来ていない子も本当はそう思っているのかなあと、深く考えさせられたから。

・青森県の夜間中学を作ることにたくさんの人々が賛同していることがわかった。

・夜間中学について、知ることができたから（全く知らなかったの）

・4人のパネリストそれぞれの立場からのお話は、なるほどそういう考えもあるなとか、新しい情報、知識を得ることができ、大変有意義な機会でした。

・「こんばんはII」が非常によかった。夜間中学とは何かを知ってもらうためにも文言だけの説明ではなく、どんな学校であり、何故必要なかがよくわかる。また、パネルトークも様々な当事者の方々の話を聞くことができた。

・「学びたい人がいれば」ではなく「教えたい人がいれば」学び場は成立する！大谷さんのご発言に目が覚めました。自分一人では思いが及ばないことを得た機会です。

・いままで知らないことがたくさんあって夜間中学について具体的に知ることができた。

・青森に夜間中学を作る流れを止めず加速する助けになる。

・社会教育の大切な「部分」としての「夜間中学」の必要性を、多面的な角度から理解しえた。「学びなおすことは、生きる力になる」→基礎学力補完・保障を時を待たずして、実行に移したい（←設立ということ）

・パネラーの方達の多様な意見を聞く事ができてよかった。夜間中学の設立により、織笠さんが学生の時に感じた生き辛さを少しでも削減して、生きやすくなる人ができるのではないかと感じた。

・パネリストの方々の具体的な話が聴くことができたから。会場からの意見も挙がって双方向の話ができたから。

・いろいろな立場の方の話がきけたこと。

・夜間中学を作りたいという意識を共通認識できたから

---

・”勇気とお金がない”という映画の言葉が心に残りました。

自分自身、地域で自宅夜間中学を始めたいと長年考えつつ”勇気とお金”がなく実現できずにいます。パネルディスカッションでのおはなしで”勇気”をもらいました。

---

・今の青森県の義務教育の未修了者等のデータ等、色々な方向からご意見を聞いて良かったです。夜間中学だけでなく県内のフリースクールの状況なども調べてみたいと思います。

---

・夜間中学の必要性と「学ぶ」とは何かということをととても強く考えさせられました。

---

・夜間中学はどのようなものか以前から興味があったので、具体的に知ることができてよかったです。また、設置するためには、様々なハードルがあることなどがわかりました。

---

・夜間中学の必要性を理解出来たから。

---

・リアルな話が聞けたので。

---

・夜間中学校は身近にあるものだと思っていたが、そうでもないことが分った。

---

・夜間中学に関心を持っている人々が多くいることを知りました。パネリストのお話もよく伝わるものでした。

---

・「学び」。機会を本人がいかにかねるかが課題（現在）。公的機関の通り一遍＝「学力偏重」「大学入試」の是正がない限り、現在は無理なのかな。

---

・夜間中学について、知ることができた。織笠さんのトーク、金澤さんたちパネラーのトークが、とても参考になりよかったです。

---

・夜間中学を必要とする様々な人がいることを知ることができた。県内にも、不登校の生徒の他に、学び直しを必要とする大人もいることと思う。課題意識を持つことができた。

---

・夜間中学を初めて耳にしました。興味深く傾聴しました。

---

・なかなか知ることのできないお話がききました。また、資料も多くわかりやすかったです。ありがとうございます。

---

・夜間中学を作って支援したい側、その様な場を利用してた方両方のお話がきけて良かった。大谷さんの言っていた「自主夜間中学はいくらでもできます」作った人だからこそ言える頼もしい言葉だった。

---

・これからの私自身と夜間中学とのかかわり方について考えることができました。

---

・自主性の中に学ぶ喜びがあることを改めて感じた。

---

・この講演会の先に何をめざしているのかが、よくわからない。（社セ＝指定管理者で何かしてくの？）

---

・不登校の原因の中に「学びたくない」がよくあり、それに対して保護者も「やりたくないなら行かなくてもいい」となる。それに対して教員としてどのように対応すべきかいつも悩んでいます。今日はこの講演会が何かのヒントになればと思い参加しました。知らなかったことを知ることができてよかった。

---

・楽しかった。実際の運営はたいへんだと思う。法律ができた、国から言われたではなく、設置されていてもいいこと。

---

### #03 本県における夜間中学の在り方等について、ご意見があればお書きください。

※各意見について、項目を設けて整理したものです。

#### ●「まずは自主夜間中学から」という意見

- 
- ・公立夜間中学はハードルが高い。自主夜間中学からはじめたらいいです。
  - ・待ち望んでいます。自主夜間中学を。
  - ・まず、自主夜間中学校をつくる。公立はその後。学びたいと思っている高齢者には残された時間が少ないから。
  - ・公立夜間中学が設立できれば素晴らしい事であるが、大谷さんのおっしゃった通り、自主夜間中学を作る事から始める事も大事であると感じた。
  - ・いろんな主体が、自治体まかせにせず自主夜間中学をたくさんつくっていくところからスタートするのが大切な、と。単純に公立夜間中学をつくっても「不登校生がでちゃう夜間中学」を追加でつくるだけになりそう・・・。
  - ・小規模でゆるやかな学びの場が数多くあるといい。サークルみたいなのも含めて。考える人の研修会を自治体がすすめるのはどうか。「夜間中学教員養成講座」
- 

#### ●公立夜間中学の設置に向けた意見

- 
- ・ゴールを公立夜間中学創設と考えるか、市民による自主夜間中学の運営の方が良いか、迷うところです。「個別最適な学び」「協働による学び」をどのようにして実現するか・・・。関西方面にある「識学学級」のような。
  - ・地理的なことを考えると1校だけではなく、圏域に1校くらい必要かもしれません。
  - ・国と地方自治体の責務が明記されているにもかかわらず、首長が実施しない本当の理由がわからなかった。費用の問題なのか、進めている議員の問題なのか、人の問題なのか、本音を聞きたかったが、話が出ていないのが残念だった。でも、絶対必要なのは理解できたので政治に利用されないことを願っています。
  - ・県内にこそ夜間中学がほしいです。県内に一つではなく各市に又は町村に一つは必要です。居場所+学び 不足しています。小中学生のための学び、居場所 たくさんできるのが理想です。お金のない県なので作りたくても作れないのかとも思う。大谷さんの言葉で勇気をいただきました。ありがとうございました。
  - ・福島に何度も何度も視察に行って、公立の夜中がどうしたらできるのかを、早くに知って取りかかってほしい。県全体の問題。福島にできて青森にできないとか、ないと思う。次は「夜間中学をつくるつどい」になってほしいと思う。
  - ・県教委は「市町村教委でまず手を挙げてもらって」市町村教委は「県教委の動向を見て」と結局お見合い状態になってしまって、公立の夜間中学の設置に向けた動きが進まない。昨今の公立夜間中学の新設状況を見ても、やはり県の設置が望まれる。
  - ・せっかく出来たフリースクールも運営資金等の問題で閉鎖されて、自治体や国が学びの場を保証する必要性を感じています。放り出され、せっかく得た居場所を奪われた児童、生徒が本当に気の毒で、一年でも早く“夜間中学”が設置されることを望みます。今日この場に来た方々は、フリースクールや夜間中学など学び直す場が必要だと感じている。関心の高い人。そんな人が集まっている言わば「閉じられた」会とも言えましょう。大谷さんが首長が一声発すれば夜間中学ができるとおっしゃっていましたが、それならば市長にもご出席下さるよう声をかけるべきだと思います。それが難しいのは理解できるので、参加した議員の方々が議会で質問するなどして頂きたいと思えます。参加した私も周りに周知するよう活動を始めたいと思えます。
- ※知識（読み書き）を得る場所、居場所（不登校経験者）が混同されてもよいのだろうか？機能（目的）が違うのではないか？
- 
- ・9/2(月)～10/1(火)に青森市教育振興基本計画のパブリックコメントが実施されます。青森市教委としてもできるだけ夜間中学を作れるよう意見してきていますが、パブコメの中でより具体的な要望、提案を発信して頂けると具体的な話にしていけそうです。青森市なら棟方志功記念館、柳川庁舎も使えそうです。
-

---

・不登校を含む学ぶ権利を失った状態にある人々の本県の実態を広報すること、形式的に中学校を卒業している子どもの数や外国籍の子ども等で十分に学校に通学できていない人々など。県の調査と併せて考えると早急に対応する必要を感じます。まずはスタートするのが大事だと思います。

---

・ぜひとも中央市民センター付近に夜間中学を立ち上げてほしいと思います。協力できることがあれば参加させていただきたいと思います。

---

・設置場所が難しい（八戸・青森・弘前の3か所が理想）。最近の教育環境からすると1ヶ所になるのか。青森市に設置するのであれば利便性を考え、青森駅近くの小中学校に併設するのがいろんなことを考えてもベストである。

---

・今回は夜間中学のことを知ってもらったので、ぜひ次回は青森に夜間中学を作るために何をすべきか！具体的なつどいが開催できればよいと思います。現在は県が作るべき！市がやるべき！と押しつけ合っている状況です。（残念）

---

・宮下知事就任後、創業や移住、学歴や経験のある人に対しての道は開かれているような印象ですが、夜間中学のように「そもそも学べていない」人々に対しての政策はあるのだろうか？という疑問が生まれました。高度な教育も必要ですが、基礎力を養うことの重要性を、市長や知事に提言してほしいと思います。教員を退職されたかたなど、人材はあると思いますので、そういったかたたちに協力していただければ、夜間中学を作れるのでは？と思います。

---

・定時制や通信制の高校のように、午後の部を設けたり、オンラインの授業を活用するなどの工夫が必要かもしれない。各市町村や、学級減や閉校などの影響で、活用できる公共の場所を活用できればよいと思いました。

---

・公的機関で設立（お金がかかる）ために、啓蒙できる、する団体の存在すら知らない。県民、市民の教育への姿勢、保護者の意識をいかし・・・学校現場が保護者にビビっている。

---

・作ってしまった方がはやいのかなと。今の知事ならば、何かを変えてくれそうです。

---

## ●教員への対応、地域の協力に関する意見

---

・多様な学びの場づくり講座に参加したことから夜間中学について興味をもち、また情報の提供もあり、今回のつどいに参加しました。最近考えているのは、夜間中学をつくっていくことも大事ですが、現在の学校が抱える不登校の問題→形式卒業につながる、や、金澤さんが最後に話していた学校運営協議会で回していく。教員だけに背負わせない、地域の力、人材の活用→地域学校協働活動など、幅広い視点から考える。そういう立場の人々が関わっていくことが必要なのではと思っています。一番も課題は人材の確保だと思います。教員が足りません。

---

・青森県では、日本語教育の教員向けの研修や、不登校の生徒への理解を推進する研修が少ないと感じています。教育委員会の方からも、職員室の中でも、日本語教育や登校支援が必要な生徒への差別的とも思える発言を耳にしたことがあります。夜間中学を設置するにあたり、不本意に転勤する教員ではなく、意義を理解して教育にあたる教員をいかに増やすかが課題だと感じています。教える教員へのサポートも合わせて整備をすすめてほしいと思います。

---

・パネルトークでも伝えさせてもらいましたが、当事者（実際に利用する方やその家族・支援者）の事を反映させる仕組みづくりを大事にしてほしい。

---

・通う人が安心して通える場であることを大切にしてほしいと思いました。金澤さんが話されていたように教育関係者だけではなく保護者、地域の方も参画できる形だとよいと思います。

---

## ●「夜間中学」の名称に関する意見

---

・「夜間」ということばにとらわれすぎないで考えていくことが学びの機会を拓げていくことになると思う。

---

・早期の開設を望む。その際には「夜間中学」という名称ではなく、新たなイメージをもてる名称としてほしい。学びの経験がその人の人生を豊かにする。形式卒業の人たちにも、その人にあった学びを提供するためにも早期の開設を望む。

---

---

・「夜間中学」という名前のイメージが何となくそれぞれの中にあると思うけど、学びたい人が学ぶことができる場所がある、という事を知ったら、来たいと思う人はいると思う。同じく、フリースクールなどの場所も、イメージで行きたい、行けない、行きにくい等あると思うので、同じく学びたい人にはとても必要な場所となると思う。様々な年代の人がいるというのも、様々な学びになると思うのでいいなと思う。

---

・子どもが自分がおかしいと思ってひきこもっていたり不登校になっていることが多いので、夜間中学という名前がへんなものではないことをイメージ付けしてほしいです。

---

### ●夜間中学の認知、周知が必要という意見

---

・まず私を含めて、どれだけ夜間中学のことが認知されているかと考えるとそこからできるのではないかと思います。”知ること”が第一そう思いました。私達が情報発信していくことが大切。自分事として。

---

・まずは夜間中学とは何かをもっともっと沢山のの人に認知してもらって。

---

・学び直しの場を必要としている人に届くことを期待。

---

・他県と違って、青森県はとても遅れているのだなあと感じました。こういうイベントこれからもたくさん実施すると良いと思いました。ありがとうございました。

---

・一日も早く青森県に夜間中学ができることを切に願っています。その前に、自分でもできることから、やれることを少しでいいからやってみたいと思いました。今日、勇気を出して参加しとても良かったと思いました。ありがとうございました。

---

### ●夜間中学の機能、その他の意見

---

・映画を見て、夜間中学がこんなに笑顔あふれる場所だということが知ることができ、ぜひ青森県にも設置してほしいと思いました。私は、県内の小学校で保健室登校を抱えており、夜間中学とは少し違うかもしれませんが、もう一度学びたいと思える場所、居場所づくりという面でとても勉強になりました。

---

・現在不登校の高校生・中学生がいて、高校生の子は小6から不登校。中学の学習もほほしないまま今に至っています。本人が現状学びたいと思っているかは不明。勉強していない自分はもうダメと思い込んでいて体（頭）が拒否しているが、この先、いつれ学び直したいと思った時に夜間中学が救いになるのではと思っています。ぜひ早期の開設を望みます。

---

・義務教育をうけれなかった人だけでなく、高齢者の生きがい対策として、学び直すと言う機会にもなったら良いと思いました。

---

・不登校生が多くいるとの報道がある。多様な学びの一つに夜間中学が位置づけられる。知る為にも必要だと思う。

---

・私自身ずっと学生をしていて趣味、仕事のための学びをしたいと考えています。24hの社教がどこかにあるそ  
うで組み合わせてもよいのではと思います。

---

・自分自身学びなおしたいと本当に思いました。

---

・時間が短くかんじられた。夜間中学をぜひ作りたい。実例がきけてよかった。

---

・是非、公立夜間中学を設立させて欲しいと感じました。

---

・早く設立することが喫緊の課題だと思った。

---

・ぜひ作ってほしい。

---